

第 19 回学習会での話し合いの内容

全体での話し合いで出た意見

- ・比較対象を全国にせず、多摩地域とすべき。(広袴に住んでいる。ずっと多摩の先進市、武蔵野とか小平に住んでいたもので、町田市はそのレベルでなくて残念)
- ・議会で請願を採択した。採択したら議員にも責任があると思う。
- ・野津田は人口が増えているので、鶴川図書館を閉館ではなく、移転を考えるのはどうか。
⇒前の 5 ヶ年計画では図書館を増やしたが、今後、市は新たに施設をつくることはしないので、難しい。
- ・バス路線で駅前図書館には行かれる。⇒バス便はあまり多くない。家族で行くとなったら、往復で 1000 円近くかかってしまう。駐車場もないので、車でも行かれない。
- ・多摩市は半径 1km の範囲に図書館がある。歩いて行ける。

A グループでの話し合い

- ・重点事業と行政経営改革プランとの事業費の比較を数字で出してみる。
- ・小中学校の PTA にも要望書の署名活動に協力してもらおう。
- ・議員さんを通して市役所の秘書課に市長との面談を文書で依頼する。
- ・子連れのお母さんも一緒に市長のところへ。
- ・鶴川図書館をテーマにした絵を描いてもらい、展示する。→この案を受け、富岡さんが 2 月 3 日の豆まきのイベントの際に画用紙を配ると発言。それにつけるお願いの手紙が必要。(作成して、2 月 3 日の豆まきのイベントで画用紙とお願いの手紙を配布、その他機会をとらえて配布中)
- ・図書館がある団地、図書館がある商店街をもっとアピール。(めったにない。)
- ・鶴川、野津田、小野路などの人口構成と人口の推移のデータを出す。団地は減っているかもしれないが、全体としては増えているかもしれない。(次回の学習会ではデータを出す予定)

B グループでの話し合い

- ・「町田市文化プログラムに参加しませんか」ということを出しながら、生涯学習を削るのはおかしい。
- ・スポーツ施設にお金をかけ過ぎ。
- ・PTA に働きかける。=子育てをしている人たち。
- ・議員にももっと働きかける。
- ・統計資料について。貸出冊数だけでなく、利用者、来館者数を出す。
- ・多摩地域の図書館との比較を出す。
- ・小野路に図書館をとという意見もあったが、移動図書館をもっと活用すべき。

- ・駅前図書館が子どもや高齢者にとって利用しやすいとは言えない。複合施設が望ましいとは言えない。
- ・機械化の失敗。お金をかけて読書環境を劣化させている。コミュニケーションの喪失。
- ・図書館の数を減らすというのは、活字に親しむ機会を奪うことになり、最悪の政策である。

C グループでの話し合い

- ・町田市と隣接している他市との連携も大事。
- ・リクエストの受け取りだけというのは、本来の図書館の機能が果たせない。
- ・川崎市・：ツタヤのTカードだと個人情報警察に渡されることもあり難しい。
- ・鶴川地域の魅力をもっとアピールする。
- ・次回以降に向けて、もっと議員に来てもらう。
- ・人がもっと集まれるように工夫。

.....

みなさんからのご意見、ご提案を今後の活動に活かしていきたいと考えています。